

## 小城市が誇れるもの

### 小城市ようかん羊羹

明治時代の初めに森永惣吉によって小城の羊羹づくりが始まりました。日清戦争で甘味品として軍隊が買い上げ戦地に送ったところ、保存に優れていたため評判になり、多くの人に知られるようになりました。第二次世界大戦ごろ、物資不足のため生産できない時代もありましたが、それが終わると、甘いものが好きな消費者の支持もあり、日本の経済成長に合わせて生産量を拡大して佐賀県を代表する銘菓の一つとなりました。



教育委員会所在地：小城市三日月町長神田2312番地2

連絡先：0952-37-6131

学校数：小学校 8校、中学校 4校

## 郷土の先人



やすま  
高田 保馬

1883年(明治16年)三日月町遠江に生まれ、京都帝国大学哲学科を卒業。京都帝国大学講師を初め九州帝国大学、京都帝国大学などの教授を歴任し、生涯を学問と教育に傾けました。わが国の経済学、社会学の第一人者であり、文学博士で歌人でもありました。1972年(昭和47年)88歳で死去しました。

### 高田先生が校歌を作詞された学校

- ・三日月小学校 ・北山小学校 ・武雄小学校 ・三里小学校
- ・武雄北中学校 ・小城中学校 ・三日月中学校
- ・有田工業高校 ・佐賀農業高校 ・佐賀西高校 ・佐賀北高校

## 桜岡小学校の取組

桜岡小学校では、3～6年生の総合的な学習の時間『梧竹に学ぶ』という活動を行っています。郷土が誇る中林梧竹の記念碑や梧竹記念館の見学を経て、実際に書を書いたり、落款を彫ったりして学びを進めています。地域の方々がゲストティーチャーとしてご指導いただき、より詳しく学ぶことで、自ら作成した作品は子ども達の宝物となっています。故郷への思い、故郷を愛する心へとつながる活動として毎年続けています。



講師の古閑先生より梧竹の書を学ぶ3年生の様子



講師の富永先生より落款の作り方を学ぶ5年生の様子

## 三里小学校の取組

5年生の総合的な学習の時間は、「地域の農業や産業、観光について調べ、伝えることができる。」ことを目標に、地域ボランティア等をゲストティーチャーとしてお招きし、農業体験や羊羹作り体験などの学習をしています。

10月に開催した「ものづくり体験教室」では、羊羹づくりマイスターをお招きし、仕事の紹介や魅力などを話していただきました。マイスターのこだわりや心意気に触れることができたことは児童にとって、郷土への理解と愛着を深めることにつながり、とてもよい経験となりました。



「三里ふれあい自然塾(田植え体験の様子)」



「ものづくり体験教室(羊羹づくりの様子)」

## 晴田小学校の取組

晴田小学校は自然豊かな環境にあり、総合的な学習の時間では、それを生かした学習を進めています。

3年生では、学校の近くを流れる晴気川に生息するホタルについて学習を進め、元ホタル保存会の方をゲストティーチャーとしてお招きしました。ホタルは「環境のバロメーター」と言われ、ホタルの生態や環境とのつながりなどを教えていただき、3年生はそこからホタルが生息する晴気川の素晴らしさを再認識し、地域の川を守る大切さを学ぶことができました。

4年生では、地域の方をゲストティーチャーとしてお招きし、晴気川の水質や生き物のことなどについて詳しくお話していただきました。晴気川の水質の良さがホタルの環境に適していると、3年生で学習したことと関連付けながら学ぶことができました。晴気川だけでなく環境を守ることは、自分たちの生活を守ることにともなっていると気づき、晴田小が素晴らしい自然に囲まれていることを再認識しました。



ゲストティーチャーに学ぶ3年生

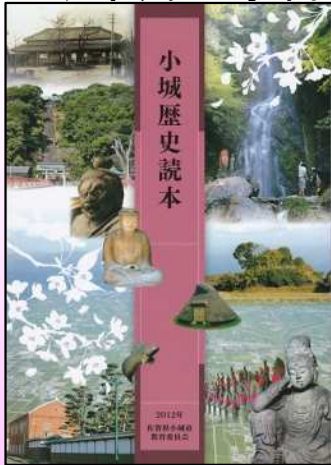


ゲストティーチャーに学ぶ4年生

## 小城市の特徴や誇れるもの

- ・佐賀県のほぼ中央部に位置し、北は秀峰天山を望み、南は六角川を介し、有明海に面した自然豊かな土地である。
- ・春の訪れをつげる牛尾の梅林や小城公園の桜、芦刈海岸のムツゴロウ、初夏には祇園川のホタル、秋には江里山の棚田を彩る彼岸花、冬には天山の頂に白いベールを覆う雪など春夏秋冬のさまざまな姿を見せてくれる。

## 小城市郷土学習教材



小城市歴史読本 (H24年作成)

- 内容 (全108頁)
- ・郷土の歴史 (原始～現在)
  - ・郷土の先人達 12名紹介
  - ・伝統芸能 8個 ・民話 4編



### 中林梧竹

1827年小城本町の小城藩士中林家に生まれました。1869年藩主に従い京都にいましたが1871年の廃藩置県で帰郷し書道に専念しました。51歳ごろより中国書道に着目し2度清国に渡り書を学んで、書道の奥義を極めて「書聖」と称されました。明治の三大書家の一人です。1913年三日月町の梧竹村荘で死去しました。86歳でした。

## 岩松小学校の取組



岩松小学校では、地域を流れる祇園川を題材に、郷土を愛する心を育む教育を進めています。ホタルが飛び交う清らかな祇園川周辺での清掃活動を通して、学校や地域を大切にしようとする美化意識を高めています。また、ホタルの生態学習や水生動物調査を行い、水質の良さや川の実態について学ぶことで、自然環境への関心を深めるとともに、祇園川を守ろうとする意欲の育成につなげています。

教育委員会所在地:小城市三日月町長神田2312番地2

連絡先:0952-37-6131

学校数:小学校 8校、中学校 4校

## 芦刈観瀾校(中学部)の取組

1年生は総合的な学習の時間に郷土について学ぶ「あしかり学」を行っています。

有明水産振興センターを訪問し、有明海の自然やのり養殖について説明を受けました。その後、学校で町在住で小城市郷土研究会会長さんの講話を聴きました。「芦刈」という地名の由来や干拓の歴史など芦刈町の歴史について学びました。

また、地域ボランティアの方々を講師にお招きし、「こままわし」や「めんこ」など、芦刈町の昔遊びを小学生と一緒に体験しました。小中一貫校ならではの取組になりました。

今回の学習を通して、芦刈町への理解が深まり、芦刈の良さを再発見できました。

### あしかり学の様子



### 昔遊びの様子



## 牛津中学校の取組

本校は、総合的な学習の時間において、各学年で学習の領域・分野を決定、画・立案し学習活動を展開しています。第1学年は、水害被害の経験のある地域で暮らす子どもたちが、災害の恐ろしさや防災・減災の必要性を感じ、将来の生活に活かせるように調べ・まとめる防災学習を行っています。

生徒たちが生まれる前のことなので、ご家族の方にインタビューし、実際の様子をまとめたり、タブレット端末を使っての調べ学習を行ったりして最終的に新聞形式にして、報告書を書き上げました。活動の様子は、お互いにわからないところをアドバイスし合う姿や、学年職員に意見を求めたりする姿がたくさん見受けられました。「牛津の水害だけでなく、防災や減災、避難の方法などを知ることができて、有意義な活動になった。」という声にうれしさを感じています。

